

令和4年3月24日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

ウクライナの学生に遠隔授業を提供

山梨大学はウクライナのトップ大学の一つである National Aerospace University (国立航空宇宙大学) —Kharkiv Aviation Institute (ハリコフ) から要請を受け、教育プログラムの国際化の成果として開発した英語による専門講義コンテンツと、大学等連携推進法人“一般社団法人大学アライアンスやまなし”による教育連携の一環として構築したオンライン講義配信システムを活用し、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻により講義が受けられないウクライナの大学院生に対して遠隔授業を提供することとしました。

つきましては、下記のとおり記者会見を行いますので、お知らせいたします。

記

【日 時】 令和4年3月24日 (木) 15:30~16:30

【場 所】 山梨大学本部棟5階第一会議室 (甲府市武田4-4-37)

【説明者】 山梨大学 学 長 島田眞路

理 事 風間ふたば

副学長・国際交流センター長 茅 暁陽

職 員 フォミチョヴァ・クセニヤ (ウクライナ出身)

【その他】 取材を希望されるマスコミ関係者の方は、15:15までに直接会場へお越しください。

〈広報についての問い合わせ先〉

山梨大学総務部総務課広報企画室

TEL : 055-220-8005, 8006 FAX : 055-220-8799

E-mail : koho@yamanashi.ac.jp

概要：本学で博士号を取得し、大学院教育マネジメント室に勤務するフォミチョヴァ・クセニヤ博士（ウクライナ出身）の母校であり、ウクライナのトップ大学の一つである National Aerospace University（国立航空宇宙大学）—Kharkiv Aviation Institute（ハリコフ）から、現在ロシアの砲撃により、ウクライナの殆どの大学は、対面はもちろんオンライン講義すら提供できない状況にあり、学びの機会が奪われた大学生・大学院生に対して遠隔授業を提供してほしいとの要望がありました。

山梨大学はこれまで、「地域の中核、世界の人材」を旗印に、グリーンエネルギー変換や国際流域など従来から本学の強みとする分野に加え、コンピュータ理工学をはじめ、近年工学域の複数分野において海外との大学院ダブルディグリープログラムを開設するなど、教育プログラムの国際化の充実に力を注いできました。実際、これらのコースやプログラムにおいては英語による専門講義が実施されており、また、政府の新型コロナウイルス感染症に対する水際対策の強化により入国できない留学生向けに、オンラインの授業コンテンツが整備されています。今回は上記の大学を含むウクライナの 12 大学の大学院修士課程の学生を対象に、最先端の AI 技術及びクリーンエネルギー、水環境に関する 13 科目を提供することにしました。今後さらに分野を拡げ、順次提供する科目数を増やしていく予定です。

学生さんが現在置かれている厳しい環境を鑑み、講義はすべてオンデマンド形式で視聴できるだけでなく、担当教員がオフィスアワーを設定して質問に直接回答するなど、一層の理解促進を図ります。また、本学は山梨県立大学と全国初の設立である大学等連携推進法人、“一般社団法人大学アライアンスやまなし”の教育連携の一環として、本学の eラーニングプラットフォームで稼働する最先端の授業配信システムを導入しており、当該システムを活用して、講義コンテンツの配信や各種学習サポートを行っていく予定です。講義の履修に対しては、本学が学習内容や学習時間、評価結果などを記載して証明書を発行し、現地の各大学において単位が認定される予定です。

講義に加え、ウクライナの大学からは研究室などにおけるオンラインインターンシップ及び共同研究の受入れに関する要望も届いており、今後学内で協力可能な研究チームを募り、順次実施していく予定です。

今回のロシアによるウクライナへの軍事侵攻により、理不尽にもキャンパスだけでなくあらゆる公的施設が壊され、多くの尊い命が失われていますが、そのような最中にあっても、祖国の将来を信じて決して学びを諦めないというウクライナの人々の強い意志に私たちは強く心を打たれ、これを全力で支援することは教育者としての使命であると考え、教職員一同力を合わせて取り組んでいく所存です。